

日中青少年交流事業概要

日中両国政府は、日中平和友好条約締結 30 周年である 2008 年を節目として、2008 年から 4 年間、年間 4,000 名規模の青少年の相互訪問を推進しています。

同世代の青少年との交流や、ホームステイ・ホームビジット体験の他、分野ごとの多面的な視察・交流プログラムを通じて、相互理解を深め、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる国民相互間、特に青少年間の信頼関係を醸成することを目的としています。

また、本事業は「21 世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施しています。

● 交流事業は大きく2つに分かれています。

(※数字は 2010 年度概要)

① 中国青少年の招聘

・中国高校生： 8 泊 9 日の短期招聘、年間約 2,200 名

・中国 青年： 約 8 日間の招聘、年間約 1,700 名

<分野> 行政、経済、学術、教育、青年団体、友好交流、文化芸術、メディア、環境、エネルギー、科学技術、医療衛生、農業、大学生等

② 日本青少年の派遣

・日本高校生： 6 泊 7 日の短期派遣、年間約 700 名

・日 本 青 年： 約 1 週間の短期派遣、年間約 1,200 名

(※派遣期間は中国側受入団体によって異なる)

<分野> 行政、経済、学術、教育関係者、環境・省エネ、地方自治体、友好交流、文化芸術、ポップカルチャー、メディア、大学生、ミス日本等

今般派遣する「2011 日本青少年訪中代表団第 1 陣(文化分団)」は、上記②の一環として派遣される日本青少年訪中代表団第 1 陣 500 名の一分団と位置付けられており、北京のほか、地方への訪問を予定しています。